

No. 14『土砂災害とその対策』

東稜高校付近は土砂災害の危険のある地区が多いため、危険性と対応についてまとめました。

土砂災害とは

- ① 土石流：大雨などが原因
→ 速さ○（時速20～40km）
前兆：急に川が濁る
- ② 地すべり：地下水が原因
→ 速さ△（広範囲でゆっくり）
前兆：がけや地面から水が噴き出る
- ③ がけ崩れ：雨水が原因
→ 速さ◎（突発性で前兆が分かりにくい）
前兆：低い音がどこからか聞こえる

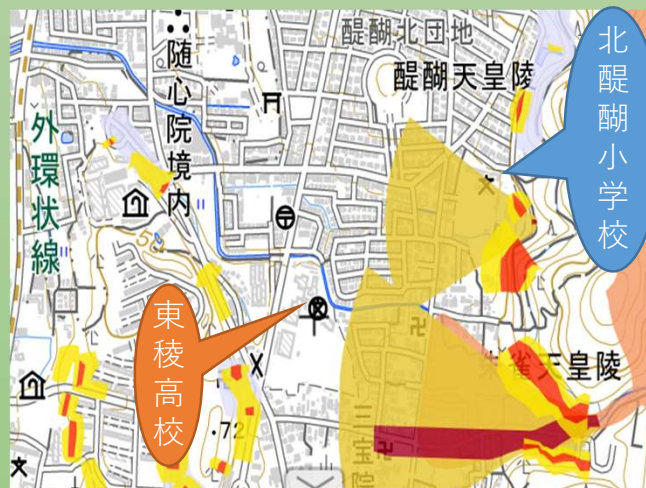


上の写真の西日本豪雨では、土砂災害が大きな被害を与えた後二次被害で、土石流や地滑りが起きやすく、川の氾濫による家具の浸水等の被害があった。

西日本豪雨 伏見区
2018年 7月 日経Xtechを引用

東稜高校は避難場所

東稜付近では下のハザードマップからわかるように土砂災害が広く被災する可能性があり、近くにある北醍醐小学校は校内全般に被災する可能性があるため、少し離れた東稜高校が避難場所に指定されている。



重ねるハザードマップ 災害種別 土砂災害
東稜高校周辺を引用

土砂災害の対応 (tenki.jpより)

- ① ハザードマップを確認する。
- ② 被災時の**被害が少ない**と思われる家は、斜面から離れた二階以上の部屋に避難。もしくは、堅牢な建物の高層階に避難。被災時の**被害が大きい**と想定される、家の住民は、下の図を基準に、避難指示が出た場合、冷静に避難。
- ③ 周りの人に声を掛けながら避難。

色が持つ意味	状況	住民等の行動の例※1	内閣府のガイドラインで発令の目安とされる避難段階	相当する警戒レベル
災害切迫 大雨特別警報（土砂災害）の発令に際しては、大雨特別警報が発令された時点で警戒レベル5に引き上げられる。	命に危険が及ぶ土砂災害が切迫。土砂災害がすでに発生している可能性が高い状況。	（立退き避難が切迫した場合） 命の危険 直ちに身の安全を確保！	緊急安全確保※2	5相当
＜警戒レベル4までに必ず避難！＞				
危険 2時間以内に土砂災害が発生する可能性が高い状況。	命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況。	土砂災害警戒区域等の外へ避難する。	避難指示	4相当
警戒 2時間以内に土砂災害が発生する可能性が高い状況。	土砂災害への警戒が必要な状況。	高齢者等は土砂災害警戒区域等の外へ避難する。 高齢者等以外の方も、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自ら避難の判断をする。	高齢者等避難	3相当
注意 2時間以内に土砂災害が発生する可能性が高い状況。	土砂災害への注意が必要な状況。	ハザードマップ等により避難行動を確認する。 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	2相当
今後の情報等に留意	—	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	—

気象庁 知識・解説 から引用

最後に

土砂災害から身を守るために雨が降ってきたら前兆に気を付けて、避難指示が出た場合焦らず声をかけながら、避難することが大切です！！

6月には「土砂災害防止月間」と呼ばれるものがあり、土砂災害防止に関する講習会や避難訓練などが行われています。ぜひ！参加して身近な危険性について知りましょう！

